

成果報告書

令和7年度実践的な防災行動推進に資する災害の記録・課題・教訓の 継承等に関する調査・分析業務

【仕様書(2) 地域における災害教訓の継承・伝承等優良事例の収集・分析】

2026年3月10日

一般財団法人3.11伝承ロード推進機構

目次

- 業務報告書（活動内容について）
 1. 取組みの目的・概要
 2. 実施内容
 3. 来年度以降の計画等について
 4. まとめ

業務報告書（活動内容について）

1.取組の目的・概要

(1)取組の背景	- 当機構は、東日本大震災の教訓を学ぶため、震災伝承施設やそのネットワークを活用して、防災に関する様々な取組や事業を行っている。具体的には、被災地である複数の県にまたがる形で点在する遺構や伝承施設を「震災伝承ネットワーク協議会」が「震災伝承施設」として認定し、マップや案内標識などの整備によりネットワーク化を図っている。その施設やネットワークを活用し、防災や減災、津波などに関する「学び」や「備え」について様々な事業を行い、防災に関する知識や意識の向上に努めている。 - 東日本大震災の被災により、施設やインフラが姿を変え、特別な目的として新たな効果を果たしたものや、被災しないと分らなかった役割や機能が発現されているものがある。こうした施設や復興時に整備された公共施設等の「復興インフラ」は、地域に与えた影響は大きいに関わらず、時間とともに社会に溶け込み、あるいは工夫した整備の知恵やノウハウが風化しつつあり、忘れ去られようとしている。
(2)取組の目的	2011年3月11日に発生した東日本大震災では、巨大な津波の襲来により、死者、行方不明者が2万人を超える大惨事となった。また、建物倒壊も全半壊が20万戸以上で、一部損壊も含めると50万戸以上となり、日本史上記録が残る中で最大の被害となった。その年の5月には国の復興構想会議において「復興構想7原則」が発表され、が、その1原則に震災伝承の必要性が記載された。 - それを受け、2013年には復興庁においては復興予算を活用し、1市町村1箇所に関し、震災遺構の保存支援を認め、翌年には国においては被災3県に復興祈念公園の設置を決定し、追悼と慰霊、そして次世代に向けた災害伝承を推進することとなった。 - 震災直後は、仮設住宅のコミュニティによるボランティアによる語り部活動が盛んに行われたが、復旧・復興の進展とともに、住宅の再建が進み、徐々に語り部の高齢化やコロナ禍もあり、語り部活動も低下しつつあり、災害伝承への大きな節目となっている。 - 復旧・復興インフラについては、自治体の復興計画により、被災住民の協力を得ながら迅速に整備を進めてきたが、その中で、地域独自の様々なアイデアが発現され、後世に残すべき復興インフラとして散見されることになった。 - そのため、復興インフラが果たした効果や役割、機能について、情報を整理し図録としてとりまとめ、忘れてはならない震災の記録として、保存し、伝承していくこととなった。

1.取組の目的・概要

(3)実施 内容	①取組の全体像 と実施項目	1. 震災復興インフラ新図録の作成 (1)図録のデザイン・印刷製本 ・ 新図録制作・印刷（A4仕上・4P・カラー・MC63.5・24P・2000部） ・ デザインデータ制作 ・ 印刷 (2)Webコーディング ・ 復興インフラ図録Webコーディング ・ サイトデータ制作
	②取組の成果物	1. 震災復興インフラ新図録の作成 ・ 図録（冊子＋Web上にアップロード）
	③取組による効果	・ 被災自治体や震災伝承施設への周知が図られ、震災伝承への活用とともに、復興インフラ等の価値化の向上に貢献する。

1.取組の目的・概要

(4)実施スケジュール	・ 1月中旬 震災伝承ネットワーク協議会（事務局：東北地方整備局）と打合せ、掲載インフラ等の決定 ・ " 印刷製本委託業者と打合せ（掲載インフラの提示と資料貸与） ・ 1月下旬 当協議会と掲載内容の確認 ・ 2月初旬 掲載事例の確認 ・ 2月中旬 仮原稿の作成 ・ 2月下旬 当協議会と原稿の確認 ・ " 印刷原稿確定 ・ " Webコーティング作業 ・ 3月上旬 印刷製本（新図録）の完了 ・ " ホームページWeb掲載 ・ 3月中旬 当協議会への製本、配付 ・ 3月下旬～ 当協議会から被災自治体・震災伝承施設への周知
(5)実施体制・役割	一般財団法人3.11伝承ロード推進機構 ・ 担当：業務執行理事 原田吉信 震災伝承ネットワーク協議会（事務局：東北地方整備局企画部） ・ 担当：震災伝承推進官 熱海裕章 企画課長補佐 山内純一 企画課係長 小笠原悠太

2.実施内容

(1)実施 内容	①図録の印刷製 本について	・ 図録に掲載する復興インフラの抽出にあたっては、当機構が行っている3.11伝承ロード研修会において、案内説明している中で、被災地でしか分からなかった効果や機能などについて、驚きをもって評価が高かった施設から12箇所の施設を抽出した。 ・ 図録へ掲載にあたっては、その中から社会に対する復興インフラとして、単なる復興にとどまらない新たな効果の発現や、施工過程の中で工夫した忘れてはいけないノウハウ、意外性を有する施設などとともに、類義施設の統合も含め7項目のインフラを選定した。 ・ 記事化にあたっては、一般の人からも理解や注目が得られるように簡潔でインパクトのある表現に配慮するとともに、分かりやすさ追求した。 ・ 図録の見やすさを追求の観点から、写真やポンチ絵、断面図などを用いて、理解度の向上に配慮した。 ・ 色合いについても、緑を基調にして重厚さよりも手の取りやすさを優先する色合いとした。
	②Webコーディン グについて	・ パンフレットのデザインを、Webサイトでも同様のデザインイメージを継承し、かつ快適に閲覧できるようにHTMLコーディングの作業を実施。 ・ スマートフォンにおいても快適に閲覧できるよう、レスポンシブデザインでコーディングした。

3.来年度以降の計画等について

(1)来年度以降の計画について	①来年度以降の取組方針 (成果物の普及先についても記載)	- 今年度作成した図録については、冊子とHP上のWebについて、震災伝承ネットワーク協議会や関係機関への配布と周知を図る。 - また、図録の活用方策とともに、図録に掲載された復興インフラへの誘導を行い、価値の向上を図る。
	②本格的な実践活動の内容 (成果物の活用方策等)	- 震災伝承ネットワーク協議会の各構成機関に対して、関連する会議等での配付と周知を依頼する。 - 大学や高校のインフラ担当の先生への配付や周知を行い、学習施設としての活用を依頼する。 - 東北地方整備局においては、被災地にある震災伝承施設の交流会議の中で、図録の紹介だけでなく、復興インフラに対する理解と広報に活用を依頼する。 3.11伝承ロード推進機構においては、企業団体向けの研修会時において紹介や周知を行う。
	③来年度以降の実践活動のスケジュール	- R8.7～9 震災伝承施設交流会議の開催による周知・広報 - R8.6～12 伝承ロード研修会時における図録インフラの紹介 - R8.11 仙台市内にある旅行業者との連会時において、図録と掲載された復興インフラの魅力紹介し、観光コンテンツ化を誘導する。 - 大学や高校等への働きかけは機会を見て実施する。
	④来年度以降の実践活動の実施場所	復興インフラや震災伝承施設を巡る3.11伝承ロード研修会での活用
	⑤実践する防災教育で連携する団体、自治体	- 震災伝承ネットワーク協議会の構成機関（青森・岩手・宮城・福島4県、仙台市、復興庁、国交省東北地方整備局） - 被災自治体のインフラ担当部署
(2)今後の課題について		掲載された復興インフラについて、周知だけでなく価値化を図り、被災地における観光コンテンツとして、集客に活用し、復興インフラの重要性とともに、賑わいの創出にも活用したい。

4.まとめ

(1)まとめ	- 当機構は、東日本大震災の教訓として、備えの重要性について広く訴えている。 - 東日本大震災では巨大な津波により、インフラが破壊され、多くの犠牲が生じた事実がある。そのため、復興インフラをはじめ、社会インフラの整備を進めてきた。ところが、その整備にあたっては、本来の目的以外の新たな効果を果たしたもののや、被災して分かった役割や機能が発現されているところがある。 - これまでは、記録誌に埋もれていたり、口頭による伝承や現地での見学といったもので目的意識が希薄な認識となっていたが、図録として取りまとめたことにより、復興インフラの機能や利用の多面性を理解でき、災害への備えの重要性や必要性が訴えることが出来たと考えている。
(2)他地域への展開（横展開）の可能性や課題	- 近年、災害の多頻度化とともに激甚化が大きな話題となっています。そのため、備えとしてのインフラの整備が喫緊の課題となっています。その中で、復興インフラにおけるファーストフリー的な活用は、非常に有効で重要な要素であり、広く全国に知っていただきたいと考えています。 - そのため、この図録を全国に広める方法について、震災伝承ネットワーク協議会を通じて周知を図り、防災国体などでの活用を考えていきたい。
(3)活用したデジタル技術の有用性や課題	Webの図録については、関係機関が利用できようリンクを張り、周知を図りたい。
(4)今後想定される大規模地震（南海トラフ地震、首都直下地震等）を見据えた取組や対応（ある場合は記載）	これまでこのような切り口で復興インフラの効果をまとめたものはなく、今後起こりうる大規模災害に向けた備えや、災害復興の大きな道しるべとして活用してほしい。